

**センス・オブ・ワンダー 豊かな感性を**

校長 井上正裕

10月を迎え、外ヶ輪米の稲刈りも終わりました。前庭に稲架掛^{はさが}けされた稲穂を物欲しそうに伺って遠巻きにしている雀たちの姿が、何とも滑稽^{こっけい}でした。時折思いもよらぬ暑い日もありますが、過ごしやすい時季となりました。

10月7日は、外ヶ輪小学校の創立記念日でした。今年で創立129年になります。来年は130周年。節目の年を迎えます。

創立記念日が近くなると、校長室にある100周年記念誌「光に充てり」を取り出してページをめくります。そのたびに、懐かしさとともに、そうだったのかという新たな気づきもあり、わくわくした思いになります。小中学生時代を過ごした木造の大校舎、400メートルの公認陸上競技場であったグラウンドの景色とともに、様々な体験をした思い出がよみがえってきます。

きっと、今の外ヶ輪っ子たちも、それぞれが様々な体験を通して、多くのことを感じ、心に刻んでいるのだと思います。そのことが、子どもたちの感性を豊かにさせていきます。

先日、ノーベル賞受賞者の発表がありました。米国プリンストン大学上級研究員、真鍋淑郎氏が物理学賞を受賞しました。地球の気候をコンピューターで再現する方法を開発し、気候変動(温暖化)の予測に関する研究を先駆的に切り開いた方です。気象学分野の研究が物理学賞に選ばれたことは驚きをもって受け止められ、気候変動に関する問題の重要性に改めて注目が集まっています。

現在、世界では、SDGs(持続可能な開発目標)として17の国際目標を設定しています。その中には、もちろん気候変動に関する目標も含まれています。地球環境を守る取組は、極めて重要であり、未来を生きる子どもたちのために、その子どもたちとともに取り組んでいかなければならないものです。

こうした環境教育の視点から、地球環境問題について考えるとき、思い浮かぶ言葉があります。「センス・オブ・ワンダー」という言葉です。これは、著書「沈黙の春」で環境問題について警鐘を鳴らした海洋生物学者レイチェル・カーソン氏が、姪の息子ロジャー少年との体験を綴り、「神秘さや不思議さに目を見はる豊かな感性」の重要性を説いた言葉で、著書の題名にもなっています。

自然に対して抱く、その美しさや巧みさ、不思議さ、畏れ多さといった感覚は、自然の一部である私たち人間に生まれつき備わっている感性によるものでしょう。その感性は、多くの自然体験などによって磨かれていきます。この豊かな感性「センス・オブ・ワンダー」があるからこそ、素晴らしい地球環境を守りたいという意思に結び付いていくのだと思います。

現代社会は、技術の進歩によって、様々なものがブラックボックス化しています。ボタン一つでテレビ画面に映像が流れ、電子レンジで調理がなされ、AIが結果を示してくれます。便利になりましたが、どのような仕組みや道筋で、そのような結果になるのか見えにくく、その過程に関心が向きにくくなっていると言えます。なぜ、そうなったのか、未知のものを不思議に思う気持ち、その巧みさに感動する心などは、まさに「センス・オブ・ワンダー」に通じるものです。

どのようにして、こうなったのか、仕組みや過程などに目を向ける感性をもつ外ヶ輪っ子であってほしいものです。それが、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決しようとする「生きる力」となるに違いありませんから。

第2回学校評議員会が行われました

10月6日(水)に、今年度2回目の学校評議員会が行われました。学校からは、1学期までの教育活動の進捗状況と、2学期の取組についてお知らせさせていただきました。その後、評議員の皆様より御意見や御提言をいただきましたので、概要について御報告させていただきます。

※「丸ゴシック体」の表記は評議員からの意見・質問、「明朝体」の表記は学校からの回答

〈新型コロナウイルス感染症対策と今後の教育活動について【校長より】〉

- ・ 教職員の退職、病休があったが、10月からは新しい職員を迎えることができた。現在は、新たな組織体制で後期の教育活動を進めているところである。
- ・ 現在不登校児童はいない。全校で児童の欠席が0人の日も5日間あった。
- ・ 全国学力・学習状況調査では、算数の結果が県平均を下回った。結果を分析して、子どもたちの学力向上に取り組んでいく。
- ・ 一人一台タブレット端末を文具として活用していく。
- ・ 特別教室のエアコン設置とトイレの洋式化(工事中)が進んでいる。
- ・ デルタ株の蔓延により、大人も子どもも感染のリスクが高くなっている。他県では、学校や児童クラブ等でクラスターも発生している。危機感をもって基本的な感染症対策を徹底していく。当校では、異学年交流などの活動は控え、学年、学級単位の活動に絞って実施している。また、ふれあい体験活動、外ヶ輪フェスティバル、持久走記録会など外部の方が一度に大勢学校に来る活動は中止、または日や時間をずらすなど分散して実施している。今後も、児童集会などは、オンラインを活用した分散型で実施したり、集合型ではなく出前型にしたり、やり方を工夫して実施する。子どもたちの学びを保障していくことを大切にしたい。
- ・ 本丸中学校区で防犯教育の取組が進められている。当校では6年生が地域安全マップづくりを行う予定である。「人が入りやすく、見えにくいところに注意が必要(立正大学小宮先生)」という視点で地域の環境を見直す学習を進めていく。それにかかわって、本丸中学校区に防犯カメラ設置の補助が出る。

〈学校評価の進捗状況について【知育・徳育・体育の主任より】〉

徳育部の取組について

- 「いじめ解消に向けた学校生活アンケートの点検提出、教育相談と対応について全学年で実施がA評価になっているが、これはアンケートを実施してみて、いじめがなかったということとA評価なのか。
- いじめがなかったということではない。アンケートでいじめの有無や経過を継続的に見取り、それをもとに教育相談を実施し、解消に努めるという対応を計画的に継続して行ってきたということである(いじめの認知件数は、4月から現在まで114件)。

体育の取組について

- メディアには、子どもにとってよい番組などもある。その際は、制限をするだけでなく、ビデオに録画して視聴させるなど、工夫して取り組んでいくのもよいのではないかと。
 - 時間の制限については、教育的意義と健康の両方を考えたルールを家庭ごとに決めて取り組んでいくことが大切であると考えます。
 - Tトレを実施できていない学年があるようだが、その理由は何か。また、改善策として、「Tトレをとおして記録の向上、バランスのよい体力の向上を図る」とあるが、まずはTトレを確実に行うことを改善策とする方がよいのではないかと。
 - 全くできなかったという状況ではなく、授業の構成上できなかった場合があったということである。まずは、確実に実施するように各学年に働き掛けていく。
- ※ Tトレとは、体力テストの結果から分かった学年の苦手とする動きを補強する運動です。主に、体育の準備運動として実施しています。

○ メディアコントロールとアウトメディアの違いは？

→ 当校では、メディアコントロールは、メディアに接触する時間を自分自身で調整することと考えている。アウトメディアは、子どもたちがメディアコントロールしながら生活できるようにするための外ヶ輪小学校での取組の名称である。

知育の取組について

○ ファシリテーションとは？

→ 話し合いの考え方と手法・技術である。子どもたちがテーマに沿って話し合い、話し合ったことを視覚化することでより話し合いを促進できる。話し合う中で、子どもたちに問題解決・合意形成などの力を身に付けさせることを目的としている。

○ 外部人材を活用する授業とは？

→ 具体的には、地域のお店屋さんを訪問して頑張っていることなどを聞く学習、地域の見守りボランティアの方から仕事の意義を聞く学習、新発田市の農家さんから農家の抱える問題を聞き、子どもたちなりにその問題の解決を目指す学習などである。自分たちが住む地域の方とかかわることで、子どもたちに地域を愛する心を育成することをねらっている。

〈ギガスクール構想への取組【情報教育部より】〉

- ・ 学校の環境として、タブレット端末（iPad）の一人一台の配付とWi-Fiの教室設置がされ、各教室にモニター（TV）とAppleTV（6台）・専用ケーブルを配置した。
- ・ タブレット端末を使用して、主にロイロノート（教室内でネットワークを使って学習支援を行うためのシステム）、Qubena（AIドリル）などを使った学習を行っている。
- ・ 安全に使用するために、スクリーンタイム（使用時間の制限）の設定、YouTube等の動画視聴の制限、なりすましの防止（IDによるアプリ等の使用）をしている。

〈意見交換〉

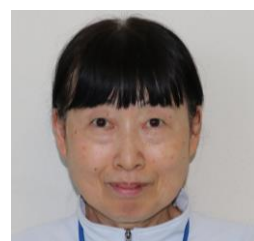
- 防犯カメラの設置場所については、子どもたちの要望も吸い上げて、大人の目線だけで考えるのではなく、様々な視点で検討してほしい。
- 子どもたちのことを考えて、異学年交流はできないとしても、やり方等を工夫して子どもたちの体験活動が少なくならないように配慮してほしい。
- タブレット端末の使用における防犯（トラブル）について、いろいろな対策や制限はすることはもちろん大切であるが、いじめ防止の観点からも指導をお願いしたい。
- 4年生の図工の授業で、どうすればよい作品になるかについて子どもたちが話し合う姿を見て、ファシリテーションの考え方が浸透してきていると感じた。
- 暗くなるのが早くなってきている。自分の命を守るためにも、止まって確認するなどの交通ルールを徹底してほしい。
- お祭りが中止になり、6年生が外ヶ輪神みこしを担げずに卒業してしまうことが残念である。最後に何か催し物ができればと考えている。PTAでもできることを検討中である。

評議員の皆様からいただいた御意見をもとに、今後の教育活動をよりよくしていきます。

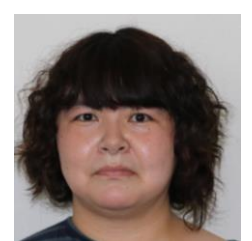
お知らせ

職員の退職と新しい職員の着任について

10月から病休に入った神田貴美子 教諭に代わり、三田村友子 講師があやめ2組の担任を務めることとなりました。また、一身上の都合で退職した中村由美子 支援員に代わり、10月から木滑明子 支援員が勤務することになりましたので、お知らせいたします。



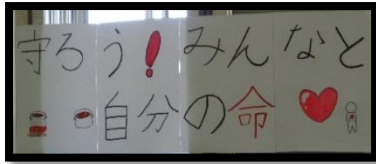
三田村友子 講師



木滑明子 支援員

5年生防災教室

子どもたちは、みんなと自分の命を守るために、真剣に活動に参加していました。



学校評議員の西澤様から、「非常食カレー作り」の指導をしていただきました。

社会福祉協議会の川瀬様から、「避難の仕方や避難所での過ごし方」の指導をしていただきました。

9月22日に5年生の防災教室が行われました。「非常食カレー作り」「避難所体験」等、子どもたちは、実際に災害時のことを想定しながら活動しました。水が使えなくなった場合、必要最低限の水で食事を作る方法を知り、驚いていました。また、避難所で過ごすことになった場合の寝床づくりにも挑戦しました。班活動では、自分のプライバシーを守りながら、周りの人のことも考えた寝床になるように、試行錯誤しながら段ボールの置き方を考えました。

持久走記録会 各学年(男女) 1位の記録

距離：1年 800m、2年 1000m、3年 1500m、4年 2000m、5、6年 2500m

1年	男子	3" 30 ([redacted] さん)	女子	3" 51 ([redacted] さん)
2年	男子	3" 57 ([redacted] さん)	女子	3" 46 ([redacted] さん)
3年	男子	5" 50 ([redacted] さん)	女子	6" 36 ([redacted] さん)
4年	男子	6" 45 ([redacted] さん)	女子	6" 42 ([redacted] さん)
5年	雨天延期のため、次号に記録を掲載します。			
6年	雨天延期のため、次号に記録を掲載します。			



温かい応援、ありがとうございました。

☆新潟県競書大会

特選	準特選	
[redacted] さん (2年)	[redacted] さん (3年)	[redacted] さん (5年)
[redacted] さん (3年)	[redacted] さん (4年)	[redacted] さん (6年)
[redacted] さん (4年)	[redacted] さん (4年)	[redacted] さん (6年)
[redacted] さん (5年)	[redacted] さん (5年)	

☆新発田市・聖籠町児童生徒科学研究発表会参加 (誌面発表)

[redacted] さん (2年)	『カブト虫、クワガタ虫のかんさつ記ろく』
[redacted] さん (4年)	『水中しゃぼん玉を作る』
[redacted] さん (5年)	『虹色の不思議を調べよう』

☆歯科保健図画・ポスター・標語 (新発田審査)

1～3年の部	4～6年の部
1位 [redacted] さん (3年)	2位 [redacted] さん (5年) 3位 [redacted] さん (6年)

夏休みの
自由課題
がんばり
ました!